

2025 課題研究

本校では3年生になると課題研究という授業の中で、生徒自らがテーマを設定し校内外で研究・取組・活動を行っています。今年度は12のテーマがありますが、そのうちのいくつかだけ紹介しますね。

地域活性化

～イベントに参加！活性化について考える～

秋に行われる北國とおり町マーケットにイベントを企画運営し、お祭りなどにも関わることで、少しでも地域活性化につなげられよう取り組んでいます。

1学期は地域の方とイベントの打ち合わせを行ったり、イベントの景品の協賛を複数の企業に依頼するなど、その地域だけでなく地元企業にもご協力をいただきました。2学期からはテレビ小松に出演させてもらうように依頼をしたり、実際のお祭りでの運営を行いました。

10月11日（土）～12日（日）に開催された「小松市どんまつり」では、スタンプラリーで盛り上げました！



～小松市わくわく計画！観光産業活性化を考える～

昨年の『こまつ新交流ビジョン2024』を参考に、小松市が抱える課題として「地域の人が地域を知らない、それを知る機会も少ない、新たに人と知り合う場も少ない」が重要だと考え、この課題の解決に向けて活動を開始！

自分たちが小松市について深く理解するために、こまつ賑わい交流センター代表取締役の小林様にインタビュー調査を行い、その後、Komatsu's u九などの小松駅周辺のフィールドワークを実施しました。また、九谷焼の錦山窯、オーベルジュヨウオーフ、石文化（石切り場）のガイドツアー参加、農口尚彦研究所への訪問、杜氏へのインタビュー調査（書面）なども行い、小松市の様々な魅力を学びました。

◆魅力の発信

小松市滝ヶ原町にあり、現在も採掘されている本山石切り場に訪れ、360度カメラで映像を撮影し、VRゴーグルで見れる動画を作成しました。県産業教育フェアのVR体験ブースで来場者に視聴していただきました。

◆小松市に関するアンケート調査

全校生徒を対象に、小松市に魅力を感じるか、将来小松市に住みたいかなどのアンケートを実施しました。



本校では教育ウィークにあわせて11月7日（金）に「課題研究中間報告会」を実施しました！

これまでの取り組みの進捗状況などについてポスターセッション方式で行われました。様々な質問や意見などに耳を傾けてフィードバックさせていくことが目的です。なお、年が明け1月下旬には「校内課題研究発表会」が行われ、優秀な取り組みについては2月14日（金）に開催される「石川県商業徒発表会」に出場します。



観光ガイドツアー

昨年に引き続き全国の中学生修学旅行向けのガイドツアーとして安宅の郷のガイドを実施！現在、いつでも受注できる体制は整っています！

6月12日に関東圏の旅行会社を対象に修学旅行商品として広報するため模擬ガイドツアーを実施しました(˘◡˘)

現在は受注待ちの状況で、受注があり次第安宅の郷をガイドをします。10月の「いしかわ産業教育フェア」に参加し安宅の郷の魅力をステージ企画でPRしました(˘◡˘)

現在は新しい観光ツアーを作成のため「那谷寺」を下見して、新しいツアーを考案中です。



ふるさと小松検定

～地元の魅力を再発見！～

ふるさと小松の「理解」を深めるとともに、より多くの皆さんに小松の「魅力」を伝えることを目的として、スタートした「ふるさと小松検定」も21回目を迎えました！

今年は、11月16日（日）小松市の第一コミュニティセンターにて実施されました。今年で21回目を迎えたこの取り組みも今回で終了となりました(T_T) これまで数多くの受験生やお世話いただいた方々に感謝申し上げます。長い間、誠にありがとうございましたm(_ _)m



商品開発

昨年度の先輩たちからノウハウを伝授してもらい、引き続き「藍染」の商品開発を行いました。様々な年代の方に手に取ってもらえるように知恵を出し合い、毛糸で作ったシュシュや花などもラインナップに追加し製作・販売しました。金商デパートやいしかわ産業教育フェアで販売してとても好評でしたよ！



※藍染めは酸化と還元という化学反応を利用した染色法です。きれいな青色は藍の葉に含まれるインディゴという色素によるものです。夏が染色に向いているため、7・8月の暑い時期にみんなで頑張って染めました。絞りや染める回数によって柄・色が変わるために、様々なデザインのものがあります。